第2号議案　2011年度決算報告

＜全体について＞

一般社団法人移行後、はじめての決算報告を行います。

法人は任意団体日本難病・疾病団体協議会の昨年 3 月 31 日現在の財産を受け継ぎ出発しました。前総会にて確認された財産目録（貸借対照表）上の正味財産（2011 年 3 月 31 日現在）は 10,174,461 円です。

2011 年度の総決算額は、総収入額 23,387,722 円（厚生労働省委託「患者サポート事業補助金ＪＰＡ分を含む)。に対して、総支出額は 27,376,425 円です。

約 400 万円の不足金が出ています。

対予算比の内訳は、加盟分担金 87.6%、国会請願募金 65.7%、協力会費 79.0%、賛助会費 185.0%。寄付金（難病支援自販機活動の寄付分、「ＪＰＡの仲間」への協賛金を含む）41.3%と、賛助会費を除き、全体として大幅な減額になっています。**入れ歯リサイクル活動**は、今年度に回収のあった難病連５団体分で、昨年決算時に預かり金として未処理になっていた 53.3 万円を含めて 2,572,288 円の収入でした。**事務局強化特別会計**には、今年度、Ｋ氏より新たに 200 万円の寄付がありました。**東日本大震災特別募金**には 666,260 円が集まりました。

厚生労働省委託事業「**患者サポート事業**」のＪＰＡ分の助成金収入は 6,790,035 円となっています。

一般会計支出は、対予算比 99.8%とほぼ予算どおりの執行でした。

リサイクル活動特別費用として、公益財団法人日本ユニセフ協会に規定の配分どおり 1,047,862 円を届けました。取組団体（5 団体）にも規定どおりの金額として合計 74.3 万円を戻しました。

東日本大震災特別費用として、支援Ｔシャツの作成経費および被災地への第１次分の支援金を届けました。

厚生労働省委託事業「患者サポート事業」のＪＰＡ支出分は 6,777,124 円でした。(収入分との金額の差額は、4 月を超えての支出が一部あったため)

総じて、社会的に求められるＪＰＡの役割の高まりにあわせて、支出が増えていくにもかかわらず、専従体制を敷いた２年目には法人化に伴う事業活動の見直しもあって収入減となったこと、国会請願署名募金や加盟分担金の低下などによる収入の大幅な減収によるものと言えます。